

2020年度学校関係者表結果報告書

項目	評価・意見	学校の対応等
<p>基準1 教育理念・目的・育成人材像</p>	<p>①コロナ禍の中、世の中の価値観が大きく変化し、学校も新しい対応が必要とされるがそれに対する今後の計画。</p>	<p>①2019年10月から2021年3月までの1年6カ月、リクルート社をパートナーに中長期計画の策定に取り組んだ。学院ビジョンに加え、各学科で育成すべき人材像等当面の目標、また10年後を見据え、ここ数年で着手すべき課題を抽出した。 概要としては「グローバル戦略」「DX 教育の推進」「インキュベーション」に取り組むべき重点3テーマに設定。各テーマに対し、具体的な課題をプロジェクト化し、推進していく。</p>
<p>基準2 学校運営</p>	<p>①コロナ禍における学校の対応。</p>	<p>①手洗い、換気、マスク着用、手指消毒を徹底することに加えて、大阪府保健所のマニュアルに従い当校独自のマニュアルを作成。学生が陽性者になった場合、濃厚接触者になった場合、家族になった場合等や校内の除菌等について様々なケースに対するルールを定めている。 対応や罹患者の情報についてはHPでも公表している。</p>
<p>基準3 教育活動</p>	<p>①新型コロナウイルスが教育活動にどのような影響を及ぼしたか。</p> <p>②ファッションという分野において全てデジタルでいくと、同質化が起きる事が危惧される。どうやってデジタルとアナログを掛け合わせるか？アナログな部分について今後どのようなカリキュラム考えているか？</p>	<p>①新型コロナウイルスの影響で各イベントを中心にあらゆるスケジュールが縮小や中止または延期となったが、リモート授業の実施や夏季休暇等を大幅に縮小し、既定の授業時数を実施することができた。 またコロナ禍を契機に学内のICT化を加速することができた。</p> <p>②発想の原点となるのは、アナログの部分であり、1年生および2年生というモノづくりを始める学生達には、まず手を動かしてモノづくりをする指導をおこなう。デザイン面については、できるだけ図書館に行く。実際の本を手にとって見て調べる。プロダクト面については、手でしっかりと引いていく。縫製に関しても、パターンを引いた製図を形にする。そして、その部分について、今年から3Dモデリストという育成コースで、2Dのものを3Dにすることを上級生に学ばせることによって、アナログを基本としながら、教員一同メリハリを意識した上で教育を実践する。 今求められているのは、ファッションがわかってデジタルが扱える人材であり、デジタルばかりやりがちになる、というところを、気を付けなければならない、と教職員の中で確認し合っていく。</p>

2020年度学校関係者表結果報告書

<p>基準4 学修成果</p>	<p>①就職の状況はどうか。</p>	<p>①コロナ感染症の影響もあり求職者率は70%止まりとなり、内定先で大手アパレルが大きく減少した。 FC学科ではデザイナー職内定者が昨対比70%だったが、パタンナー職はゼロと厳しかった。 就職に対する動機づけが十分にできていなかったという反省点がある。 特に販売職系は、受験に失敗した段階で諦めてアルバイトで良いというもののお考えがあったように感じる。 年明けに内定辞退者が数名出たのは、やはり、まだまだ就職についての考えが固まっていない者が目立ったように思われる。 ST・STM学科はアシスタントが19名と厳しい環境下でも多かった。内17名が東京勤務である。</p>
<p>基準5 学生支援</p>	<p>①コロナ禍の中、例年と違った学生支援は実施したのか。</p>	<p>①・オンライン授業整備のための緊急奨学助成金として在校生全員に一律3万円を支給した。 ・後期授業料の期限を2カ月延期し、提携教育ローンの利息を学院が全額負担した。 ・給付型の奨学金採用枠も臨時採用枠として拡大。 ・今年度から給付型の奨学金が始まり、学生112名に対して支給された。 ・新型コロナウイルスの影響でアルバイトが出来なくなり、収入が無くなった学生55人に対し、緊急支援金が支給された。</p>
<p>基準6 教育環境</p>	<p>①オンライン授業についての具体的な対策。 ②オンライン授業に対する学生の反応。 ③今年度のインターンシップの状況。</p>	<p>①2020年度入学者及び2021年度以降の入学者に対し、PC端末(Google Chromebook)を支給し、ICTを活用した教育環境の整備を進める事とした。 ②学生のオンライン授業に対する反応は、比較的スムーズ。 6月からいわゆる座学はリモートにしたが、実習(縫製、パターン、ドローイング)は教室の定員を約2分の1に減らし、学生ホールも教室として使用ながら対面授業を行っている。 ③昨年22社のインターンシップ先が今年は15社に減っている。 来年の当て込みはしたが今後何が起こるか分からない状況。</p>
<p>基準7 学生募集と受入れ</p>	<p>①学生募集についての新しい取り組み。</p>	<p>①個別対応に軸足を切り替え、新たにWebによるオープンキャンパスやZoomによるオンライン個別説明会を実施した。 グーグルマップを導入し、学内の設備や各教室を紹介。</p>

2020年度学校関係者表結果報告書

<p>基準8 財務</p>	<p>①例年とは違う環境下であるが財政面での状況はどうか。</p>	<p>①2020年度は在校生の増加に伴い収入も増加した。 増加分に関しては今年度は設備投資に使うように進めている。 過去20年以上無借金経営を堅持し、財務基盤は安定している。 今後も教員研修、設備の刷新・増強、海外とのネットワークづくりなど学校の資産となる有形無形のものへの投資は積極策で臨む。</p>
<p>基準9 法令等の順守</p>	<p>①法令等の順守 ②情報セキュリティについての今後の対応</p>	<p>①コンプライアンス規程、情報セキュリティ管理規定、個人情報保護規定、ハラスメント防止規定、表簿・文書取扱規定を策定済。 ②学校の情報資産とリスクの特定、そしてそれについての対策を構築することから始める。具体的には、紙媒体を減らし、データ化(クラウド化)を実現できるペーパーレスの方法を検討すること、または情報機器媒体の盗難等も防ぐ意味でも、学院への入退出管理の強化も検討するなど、安全性の担保や仕組みについて、細かい部分まで洗い出した上でセキュリティ対策が築けるよう取り組む。学内に情報セキュリティ委員会を設け、トップを理事長とし、管理責任者や委員を立てて、体系的に実行していくことを行う。</p>
<p>基準10 社会貢献 地域貢献</p>	<p>①企業においてもSDGsをテーマとしたブランドの立上げや新たな企業活動が注目されているが学校における取組は何かあるのか。</p>	<p>①アーバンリサーチ様主催のダウンの再生をテーマとした「グリーンダウンプロジェクト」にて当校学生が最優秀賞を受賞。 今後もSDGsに関する企画には積極的に参加する。</p>